

書籍仕入れご担当者様【ジャンル／自然科学・野鳥】

平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。
 新刊の『ハトと日本人』を6月下旬に発売致します。
 ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようご案内申し上げます。

FAX: 092-726-9886

ハトと日本人



キジバト

大田真也◎著

定価 1700円+税【6月下旬刊】

四六判・176頁【写真120点収録】
 ISBN 978-4-86329-171-3 C0045

ハトは、益鳥か、それとも害鳥か

八幡神の使い、平和の象徴として崇められ、伝書鳩として人の暮らしに重宝されてきた反面、食害や糞害をもたらしている鳥でもある。

本書は、この最も身近な鳥の生態観察の記録であり、人との関係をたどった〈ハト史〉でもある。

ハトは――

- ・鳩乳（ピジョンミルク）で雛を育てる
- ・巣づくりの場所は雌が決める
- ・独特の繁殖戦略をもっている

知っているようで知らないハトの生態を120点の写真とともに紹介。

〔目次から〕

I キジバト

営巣場所は雄が探し、雌が決める／抱卵は雌雄交替で／雄も乳を与える／鳩乳（ピジョンミルク）／食性と食害

II アオバト

幻の巣を発見／ハト類の塩分摂取

III ドバト

日本への移入／鍾乳洞に巣くう／ドバト公害／伝書鳩／孔雀鳩／稲田でハシボソガラスに襲われる／ハイタカに急襲される

IV いろいろなハト類

やはりいたカラスバト／熊本市動植物園のハト類

V ハト類と人間

「鳩」の地名／八幡神の使い／平和の象徴／人間が絶滅させたハト類三種／鳩を描いた傑作

〈著者の横顔〉◆大田真也（おおた・しんや）1941年熊本市生まれ。日本鳥類保護連盟専門委員、日本自然保護協会の自然観察指導員。著書に『熊本の野鳥記』（熊本日日新聞社）『ツバメのくらし百科』『カラスはホントに悪者か』『スズメはなぜ人里が好きなのか』『田んぼは野鳥の楽園だ』『里山の野鳥百科』『猛禽探訪記』（以上、弦書房）ほか。

【FAX: 092-726-9886】

書店・帖合 流通センター 取扱品 弦書房 〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886	冊	ハトと日本人 大田真也 著 定価 1700円+税 ISBN978-4-86329-171-3 C0045	
	冊	野鳥シリーズ（大田真也著）	ツバメのくらし百科【4刷】 定価 1800円+税 ISBN 978-4-902116-31-1
	冊		スズメはなぜ人里が好きなのか【2刷】 定価 1900円+税 ISBN 978-4-86329-048-8
	冊		猛禽探訪記《ワシ・タカ・ハヤブサ・フクロウ》 定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-135-5
	冊		田んぼは野鳥の楽園だ 定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-083-9
	冊		里山の野鳥百科 定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-102-7